

日本部活動学会第7回大会 ご案内（第一報）

会員の皆様におかれましては、益々ご健勝のことと存じます。
標記の大会を下記の通り開催します。部活動の地域移行の現状と課題について議論するシンポジウムを企画しました。皆様には万障お繰り合わせの上、ご参加いただきますようご案内申し上げます。

記

【日時】 2024(令和6)年3月9日(土) 9:00~18:00

【会場】 関西大学堺キャンパス https://www.kansai-u.ac.jp/Fc_hw/
〒590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1丁目11番1号
南海電鉄高野線「浅香山」駅下車

【スケジュール(予定)】

受付……………9:00~

自由研究発表……9:30~12:00

昼食……………12:00~13:00 [理事会]

開会の挨拶……………13:10

シンポジウム……13:15~

「部活動の存続と地域展開のダイアログ」

基調報告:部活動の現状と課題(仮)

久保田治助(早稲田大学)

部活動の存続の可能性と課題(仮)

神谷 拓(関西大学)

部活動の地域展開の可能性と課題(仮)

長沼 豊(日本教育実践研究所)

〈休憩〉

質疑・ディスカッション(14:30~16:00)

閉会の挨拶……16:00

総会……………16:10~17:10

情報交換会……18:00~20:00(堺東駅の近隣店にて開催予定)

【参加申込】

・webからの申し込みを予定しております。年明け1月上旬~中旬頃に改めてご案内致します。

【研究発表について】

・研究発表者は、会員に限ります。

・「個人研究発表」と「共同(グループ)研究発表」を受け付けます。

・発表者申込メ切:1月26日(予定)

・要旨集原稿メ切:2月22日(予定)

【シンポジウムの概要】

テーマ：「部活動の存続と地域展開のダイアログ」

部活動の地域移行・地域展開の政策が実行に移されている。新たなモデルケースを生み出す地域がある一方で、国による予算措置やサポートが不十分であることを背景に混乱が生じている地域もある。学校教育の現場に目を向けてみても、部活動を継続するための条件整備も進んでいるとは言えず、教員の労働環境の改善は未解決のままである。さらには、2023年4月から子ども基本法が施行され、部活動のあり方を考える上でも、子どもの権利や意見が無視できない状況であるが、「働き方改革」という大人の議論に圧倒され、部活動の主体である子どもは「置き去り」の感がある。

このような状況において日本部活動学会として大切な事は、あらためて「部活動を学校で実施する」主張、そして、「部活動の地域展開」の主張に耳を傾け、それぞれの問題意識や、どのような実践に取り組まれているのかについて理解し、対話・ダイアログを重ねながら、子どもにとって意味・意義のある活動を展望していくことにあるのではないか。今回のシンポジウムは、このような問題意識から企画した。

【大会参加】（「プログラム・発表要旨集」誌代を含む）

- ・会 員：1,000 円(学生会員は無料)
- ・非会員：2,000 円(学生 1,000 円)
- ・情報交換会[任意]：5,500 円(会員・非会員共通)

【宿泊】

- ・宿泊予約の斡旋は行いません。

【お問合せ】

590-8515 大阪府堺市堺区香ヶ丘町1丁目1番1号

関西大学人間健康学部 神谷拓研究室内

第7回大会事務局：jaseca2024@gmail.com